

就活クエスト in OSAKA 2021 第2弾 実施報告

テ ー マ:	これからの時代の働き方「仕事＝面白くない」は本当か?!
実施日時:	2022(令和4)年1月23日(日) 10:00~12:30
実施場所:	オンライン(Zoom)
講 師:	川村義肢株式会社 開発部 K-Teck 主席技師 松田 靖史氏 総務部 人事総務課 主事 野田 正樹氏
ファシリテーター:	大阪国際大学 基盤教育機構 講師 山本 幸一氏 (大学コンソーシアム大阪 キャリア支援部会員)
参加学生数:	7 大学 8 名(2022 年入学予定者を含む) (うち会員外 3 大学 3 名)
(大学別)	大阪女学院大学 1 名/大手前大学 2 名/関西大学 1 名/創価大学 1 名/ 創価女子短期大学 1 名/函館大学 1 名/その他(大阪工業大学 2022 年入学予定)1 名
(学年別)	1 年生:3 名/2 年生:2 名/3 年生:2 名/その他(高校3年生):1 名
企画・運営:	大学コンソーシアム大阪 キャリア支援部会 インターンシップ推進委員会

1.事業趣旨:

オンラインツールを活用してバラエティに富んだ体験・成長のための表現(アウトプット)機会を提供し、学生における学修の深化および新たな学習意欲、そして実社会や「働くこと」に対する興味・関心を喚起させる。それにより、将来に対する選択肢の増幅および多角的・俯瞰的視点の獲得、自己理解に基づく主体的な職業選択や高い職業意識の涵養を目指し、ひいては自主性・独創性あるグローバル人材の育成に貢献することを目指す。

2.プログラム概要:

日程・場所	プログラム	内容
1月23日(日) 10:00~12:30 Zoomにて	オンラインミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの趣旨説明 ・講演:「仕事＝面白くない」は本当か?! ～仕事を楽しむ働き方とは～ (松田講師) ・グループワーク 講演の感想を共有・自らの振り返り ・発表・フィードバック ・総括

3.講演概要

現在、福祉用具、義肢・装具を幅広く手掛ける川村義肢株式会社において、エンジニアとしてユニークなものづくりや社内外の活動に携わり、仕事自体を自分の人生として楽しんでいる。しかし、ここに至るまでには数回の転職を経ており、そこには様々な経験や気づきがあった。



これまでに制作した車椅子はパラリンピックにおいて日本記録を樹立したり、金メダルを獲得するなど、輝かしい成果を上げてきたが、いずれも本業として取り組んだものではなく、仕事の傍ら、企業の枠を超えて社外の人材と交流し、教を請い、知識を深めた結果である。また、資金不足の折には自ら助成金の申請を行い、資金を獲得したこともある。

何かを成すには時間と資金と協力者が必要だが、熱い思いや強い思いのある1人がいればものごとは動かせる。全く違う分野の人同士が関わることで変革が生じることもある。社内にはないものは社外に求めればよい。そのためにはちゃんと話をする、話を聞くコミュニケーション力も必要。自分の夢を叶えるために土日も犠牲にしたが、続けているうちに理解者や協力者が集まってきた。今後はどんな障害者でもスポーツや芸術が楽しめる共生社会の実現にむけ尽力したい。

24時間は誰にも平等に与えられている。仕事と生活のために必要な時間を除いた自分のための時間を家族や恋人、友人たちと笑顔で過ごせるような働き方をしてほしい。

(松田講師略歴)

大学では工学を専攻しながら、自転車競技に熱心に取り組む。卒業後、一部上場企業に就職。たまたま携わった車椅子に興味を湧き、自ら障害者スポーツセンターに教を請い、車椅子レーサーを制作。パラリンピックで日本記録を樹立するも、選手が疲労骨折するという事態を招いた。これを受け、もっと障害者のためになる技術を身に着けるべく、転職。仕事の傍ら、研究開発を続行し、制作した車椅子は4年後のパラリンピックにおいて金メダルを獲得。その後、川村義肢株式会社に転職し、エンジニアとして活躍中。

4.講師コメント概要

・学生時代は働くことに対するイメージはよいものではなかった。しかしアパレル企業から川村義肢株式会社に転職し、営業職、リクルーターを歴任するなかで、そのイメージは完全とはいかないまでも、はっきりと変わった。数でいえば、仕事は「しんどさ」9:「喜び」1の配分だが、「喜び」1の質量は限りなく大きく、その喜びは働くことを通してのみ得ることができる。仕事ができる人＝仕事を楽しんでいる人であり、努力すれば必ずしもそうなるわけではないが、自分のやりたいことをやっている人は皆努力している。(野田講師)



・昔とは違い、今の雇用関係はあくまで対等であり、学生側の立場が下だという意識は不要。主導権をもって企業を見極め、就活に臨んでほしい。(松田講師・野田講師)

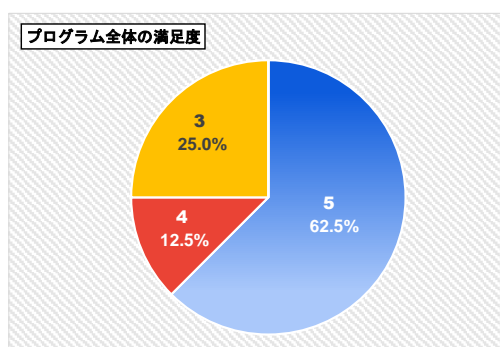
5.参加者アンケート:

別紙のとおり

就活クエスト in Osaka 2021 第2弾 参加者アンケート
参加者・回答者数 7大学 8名(うち入学予定者1名を含む)

1. プログラム全体の満足度 (単位:名)

5	(満足)	5
4	↑	1
3	↕	2
2	↓	0
1	(不満)	0



2. 上記と回答した理由

【満足度5・4】

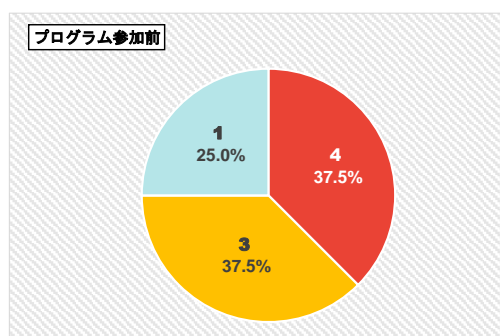
- ・就活について学べたことが多くあった
- ・少し興味を持っていた技師装具関係の仕事をしている方のお話を聞けた
- ・仕事に対する考え方や就活生へのアドバイスなどを聞くことができた
- ・社会人の方のリアルな声を聞くことができた
- ・就職に対してのイメージがわかったこと、仕事は会社だけで収まるものではないことを知れた
- ・講師の先生の大学生活の過ごし方、社会人となってからの話を聞けて、勉強になった

【満足度3】

- ・仕事の理念と言うのは人によって考え方が違うことを知れた
- ・期待していたのとは違った。仕事=楽しいを実現している方から話を伺うのは興味深かったが、個人的には楽しむための方法、楽しめなかった人が楽しむようになったという経験談の方が欲しかった

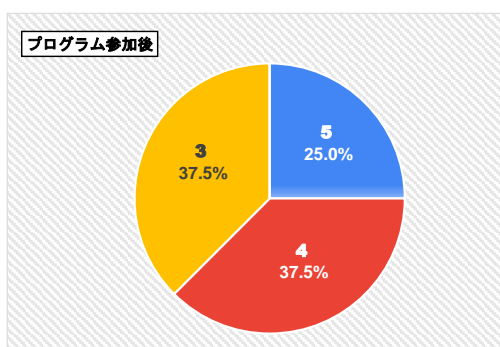
3. 「働く」ということに対するイメージ(プログラム参加前)

5	(楽しい・ワクワクする)	0
4	↑	3
3	↕	3
2	↓	0
1	(苦しい・つらい)	2



4. 「働く」ということに対するイメージ(プログラム参加後)

5	(楽しい・ワクワクする)	2
4	↑	3
3	↕	3
2	↓	0
1	(苦しい・つらい)	0



5. 上記と回答した理由(プログラム参加後)

【イメージ5・4】

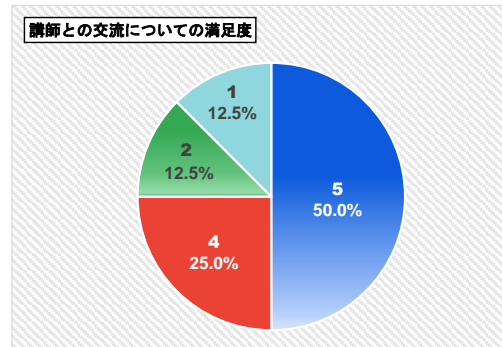
- ・自分の好きなことを仕事にしている方のお話が聞けた
- ・苦しいことも多いが、楽しいことの質が高いというお話が聞けた
- ・仕事をしていて辛いことがあるのは当たり前前で、楽しさを自分でどれだけ見つけられるかが大事だと感じた
- ・仕事とは趣味や関心のあること以外のことをしなければならないと思っていたがそうでは無いことを知った
- ・働く中でやりたいことや熱中できるものを見つけていけば、楽しく働くことができると改めて気付かされた

【イメージ3】

- ・自分の求めていた情報やイメージが変わるような取り組みや交流をあまり行われなかった

6.講師との交流についての満足度 (単位:名)

5 (満足)	4
4	2
3	0
2	1
1 (不満)	1



7.上記と回答した理由

【満足度5・4】

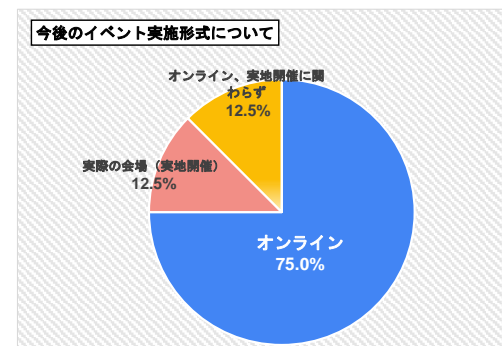
- ・講師がフランクに自分の就職活動の経験話を話してくれた
- ・人数が多すぎなかったこともあり、お二方に自分の気になっていることを質問しやすかった
- ・曖昧な質問にも丁寧に答え頂けた
- ・好きなことを仕事にする働き方はとても楽しそうだった。自分の人生の一部を会社に渡すと考えたら、自分が楽しめることを探して会社を選ぶことの大切さを学んだ

【満足度2・1】

- ・なかなか自分から質問することができなかった
- ・話自体は興味深かったが、目的とは離れた内容・話し慣れないテーマについて語っているように思えた

8.今後希望する実施形式 (単位:名)

オンライン	6
オンライン、実地開催に関わらず	1
実際の会場(実地開催)	1
その他	0



9.上記と回答した理由

【オンラインを希望】

- ・感染拡大を懸念するため
- ・日時さえ合えばどこからでも参加ができる
- ・今回勉強になったし、とても楽しかったから

【実地を希望】

- ・可能ならば対面で表情を見ながら色々な方とお話したいと思った

10.今後、取り上げてほしい業界や職種

- ・伝統工芸、出版、スポーツ
- ・IT業界
- ・広告代理店、印刷業界

11.その他、プログラムの感想・意見

- ・これからどんな仕事をしていくかを考えている時だったため、働くことや職業選択などについてのお話を聞くことができ、とても参考になった。まずは、興味を持ったところに質問しまくるところから始めていきたい。またこのようなイベントがあれば是非参加したい。